



企画展示

**3D**

カラーレの夏—摩訶不思議な幻想の世界—

今、3D(立体映像)の世界では、大型立体映像やホログラフィーなど、エレクトロニクスの技術を取り入れた新しい表現手法が主流となりつつあります。しかし、一方で3Dは、4世紀にもわたって、常に人々の心を捉え、絵画、写真、動画など、あらゆるジャンルの視覚表現と密接に影響しあひながら発展してきた長い歴史を持っています。この企画展では、こうした二つの視点から「3Dの世界」にアプローチし、最先端3Dテクノロジーの数々を紹介するとともに、今日にいたるまでの3Dの軌跡を見つめなおします。

**テーマ1 立体視の歩み**

4世紀にも及ぶ立体視表現の歴史を追いながら、時代の流れの中で生まれてきた多様な手法の数々を再発見します。

**1-1 ステレオ写真コレクション**

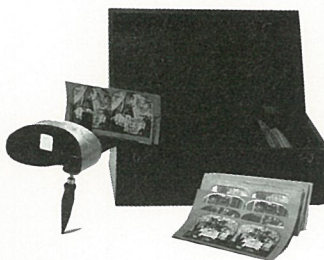
左右の両眼に対応して視差のつけられた2枚の画像を、スコープを通して重ね合わせることで立体視する方法です。

**1-2 アナグリフギャラリー**

赤・青など補色関係にある2色で印刷された画像を、同じく2色のメガネを使って立体視する方法です。

**1-3 錯視コレクション**

3D技術の原点と深い関わりのある視覚実験として、当時の様々な錯視表現を紹介いたします。



**テーマ2 最先端3Dの世界**

海外一流アーティストによる作品を中心に、未来を予感させる最先端3Dテクノロジーの世界に迫ります。

**2-1 ホログラフィー**

レーザー技術の応用によって立体像を作り上げる手法で、現代の3Dの世界で主流の一つになっている技術です。



**2-3 3Dスライド**

ビデオや動画映像に比べて高密度・高画質であるというスライドの特徴を活かして、3Dマルチイメージを作り上げる方式です。



**2-2 バーチャルフォト**

3次元のデジタル・データを元に、コンピュータ技術によって3Dグラフィックスを作り上げるシステムで、裸眼のままでもフルカラー鮮明な立体像を観ることが出来ます。



**2-4 3Dムービー**

最新の3Dムービー技術の数々を一同に集め、その圧倒的なパフォーマンスを紹介いたします。



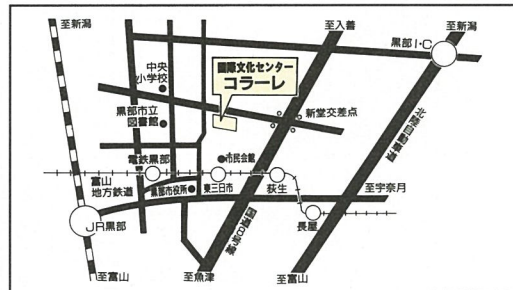
'96 **8.3(土)** ▶ **9.1(日)**

開場10:00~18:00

黒部市国際文化センターカラーレ(展示室)

入場料/一般300円 学生(中学生)200円

お問い合わせ/財団法人黒部市国際文化センター  
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207



吉田科学館にも行ってみよう!  
**水の惑星“地球”展**

たくさんあるね、ボクらの知らない地球のヒミツ。

■と き/ 96年7月6日(土)~9月29日(日)

■と ころ/ 黒部市吉田科学館エントランスホール

入場無料 お問い合わせ/黒部市吉田科学館 TEL(0765)57-0610